







主婦の手帳

すんなりやせる法

女性がやせたいと悩むが、気持ちはよく、健康な健康の問題は、多くは、やせたいと見た目の均整美、やせたいと見た目の均整美、やせたいと見た目の均整美...

夕すずみ話

時には健忘症

第一次欧州大戦直前に非戦論を唱えて暗殺されたフランス社会党の大立物ジョゼフ・カトリーヌは、天真爛漫な人柄と雄弁で知られていた。彼の演説の細目を取り上げて批判する者があつたと書けば明かに答えた。「自分の言ったことをいささか覚えていられるかい？」

人洗式便所

フランスの奇矯の詩人ジャコブは玄關の呼鈴の上に便所を設けた。人が訪ねて来て呼鈴の紐を引くと便所の中が空になる。彼は偶然として言った。「何にもなかった動作もこれで役立つわけだ。汚物が頭の上に落ちても、も解、便所はいつも清潔を保っているからね」

見るも法楽

仏蘭西第二政時代に当世一の寵愛アリタル侯爵はその養女として有名であつた。ある日彼の脚の十三と十四になる少年に向い、「ねえ、切や一通りよく勉強しなさい。今日の日曜日にはトルトの喫茶店で、水をたてて人達を見つれておいてあげなさい」

藁の与え時

シモン博士がその大作「英語辞典」に着手する際、チエスター

シモン博士は、大理石の粉末を握ると、その粉末が手のひらにこぼれ落ちる。半端な粉末を握ると、こぼれ落ちる。その粉末が手のひらにこぼれ落ちる。その粉末が手のひらにこぼれ落ちる...

おめがねのほこ

フレンチエの統領官ヒエロニムスが、ミケランジェロに彫刻を依頼した。ほぼ完成した時統領官は、鼻が少しく大き過ぎると苦言を呈した。ミケランジェロは、鼻を削り取った。

今の電車なら

徳川民部大輔が慶応二年に渡仏した時、つれていった愛娘の編吉が車中で隣の外人と大喧嘩を始めた。「この外人はあつちの食を、かけつけ、もぎとる」と、剣を抜、外人は「お前は俺に食糧の密柑を盗み取ったか」と、密柑を盗み取ったか、密柑を盗み取ったか...

面白くてタメになる

けい子とゆう人は一向に校止のまぢがいを苦にしない。目入「校正のデラメな本は、頭を突つて読まねばならぬから、面白くないものさし」

祝 三和新報1,000号



古川酒造場

勿来市植田町 TEL16

Advertisement for 'Shigakari' (シガカリ) featuring a handbag and the text 'エレガントな夏のハンドバック' and 'シガカリ'.

Advertisement for 'Asagata' (アサガタ) featuring a woman's face and the text '酒精漬の人生' and 'アサガタ'.

Advertisement for 'Hiradesai' (平デザイ) featuring the text '編物生募集' and '平デザイナイー編物協會'.

Advertisement for 'Megane' (メガネ) featuring a photo of a woman and the text 'メガネは調製技術が大切です!!' and '玉屋'.

Advertisement for 'Hanshota' (ハンモトヤ) featuring the text '毛糸の宝石' and '東洋紡のダイヤモンド毛糸'.

